



CHUETSU PULP & PAPER CO., LTD.

News Release

中越パルプ工業株式会社

代表者 代表取締役社長 原田 正文

問合先 原材料部副部長 高橋 聡

電話 0766-26-2474

平成 22 年 7 月 28 日

「中越パルプ工業かぐやの竹利用応援事業」について

【趣旨】

成長力が旺盛な竹は放置すると周囲の里山や雑木林に拡大し、森林の多面的機能や生物多様性を低下させる恐れがあり、富山県でもこれを危惧する声が年々高まっています。放置された竹林を整備して竹資源を積極的に有効利用することが、「竹害」を防ぐ有効な手段であり、この活動を支援することは地域に根ざす企業として大変重要であると考えます。

【中越パルプの竹利用の取組】

当社川内工場が立地する鹿児島県は竹林面積が日本一であり、同工場では約 10 年前から竹チップを製紙原料として利用して参りました。全国的に竹林整備による環境保全の重要性が高まるなか、川内工場では積極的に竹利用の促進に取り組み、昨年 9 月には国産竹パルプ 100%の紙を市場に出すまでとなり、その他 10%配合品などの開発も進めています。

富山県の竹林面積は、鹿児島県よりはるかに少ないとは言え急速に拡大しつつあり、大きな問題となっていると聞いております。昨年 5 月に富山県主導で「とやまの竹資源ネットワーク」が設立されたのを機に、当社高岡工場では「かぐやの竹舟号」による竹材の無料回収を始めました。今般、これに加えて森林ボランティアや地域住民の皆様による竹林整備活動をより一層支援できる体制作りを目指し、本事業を立ち上げることと致しましたので、ここにご紹介いたします。

また、8 月 1 日から開催されます「高岡七夕まつり」にも、鹿児島県薩摩川内市産の竹 22 本を地元商店街の皆様にご寄贈させて頂きましたことを、あわせてご紹介申し上げます。

1. 活動名称 中越パルプ工業かぐやの竹利用応援事業

2. 事業主体 中越パルプ工業株式会社

3. 予算額 年間1千万円

4. 初年度事業の概要 (1)～(3)の3つの事業を行います。

(1) 竹林整備ボランティア等への支援

- ① 竹林整備ボランティア等で利用されるチップパー機を購入する。
- ② 予算 3,500千円
- ③ 購入したチップパー機を8月下旬に富山県へ寄付する。
県は、竹林整備等を行う森林ボランティア団体に無償で貸し出す。
- ④ チップパー機購入の背景
 - ・竹林整備を行うボランティア団体が近年増加している。
 - ・竹林整備によって発生する大量の竹材や枝は、放置すると嵩張り景観上好ましくなく、また竹林整備の邪魔にもなる。
- ⑤ メリット・波及効果
 - ・チップパー機は、竹材等を粉碎して嵩を減らし、作業の軽減に寄与することから、ボランティア団体の活動を促進することにつながる。

(2) 地域の皆様による竹資源の利用を促す支援

- ① 目的 竹林の管理を継続するためには、竹資源の利用が重要。継続的に管理を行うのは一般の方々には負担が大きいことから、住民の皆様が竹資源を生産または利用した際に助成し、地域ぐるみの竹資源の利用を促進する。
- ② 内容 竹材やタケノコの選別、回収、集積、運搬、加工等により竹資源を利用する活動を行った地域に対し、定額を支援する。
 - ・交付額 30千円/回を交付(1地域年3回、90千円が上限)
 - ・対象地域 とやまの竹資源ネットワーク参加地域(30団体)
- ③ 予算 総額 3,500千円(助成金3,000千円、事務委託費500千円)
- ④ メリット・波及効果
 - ・竹資源の利用量が増加し、竹資源を有効利用する産業の振興に寄与する。

(3) 竹資源を利用したイベント開催への支援

- ①目的 県内各地で実施される竹関係の観光イベント（七夕祭り等）で使用する竹材の利用を促進し、住民が竹に身近に触れる機会を増やすとともに、県内の観光イベントの振興を図る。
- ②内容 竹材を利用するイベント等に対し、竹材の準備費用を支援する。
 - ・総額 200 千円/件以内
 - ・県内の竹林から竹材を伐採・搬出・運搬する費用、竹材を加工する費用を支援
 - ・対象は公募とし（市町村等の推薦があるもの）15 団体/年程度
- ③予算 総額 3,000 千円（助成金 2,500 千円、事務委託費 500 千円）
- ④メリット・波及効果
 - ・竹林整備の必要性を伝え、美しい竹林の景観維持に寄与する。

【備考】

事務委託先：とやまの竹資源ネットワーク事務局（富山県森林組合連合会内）にご協力いただきます。

以上